

つるせ 公民館だより 第390号



（現 鶴瀬公民館開館30周年記念事業で公募し、鶴瀬公民館のイメージキャラクターに選ばれた「つるちゃん」
作者 杉淵優理香さん
（上沢在住）

2011.6.1
6月号

編集 つるせ公民館だより編集委員会
発行 鶴瀬公民館 富士見市羽沢3-23-10
Tel 049-251-1140 Fa x 049-251-1156
fkm-tu@gaea.ocn.ne.jp



ぶらんこのある風景

市内には通常のぶらんこの他に、4人乗りの箱型と呼ばれるぶらんこがあったが、痛ましい事故が続いたために撤去され、今では見かけない。

公園といえば、滑り台やぶらんこ、お砂場などが定番だが、ボール遊びや鬼ごっこの出来るところは少ない。また、国で定めた基準に合致しない遊具は順次、修繕・撤去されるそう、シーソーは並列が危険なため一列に、メリーゴランド、ジャンゲルジムも老朽化の話題の後、姿を消した。

被災地の映像で、炊き出しの横にあるぶらんこで遊ぶ子どもの姿を観た。地震とその後津波で、景色も一変し、日常も消えた中、元気にぶらんこを漕いでいた。その子にとってぶらんこは日常を取り戻す大切なもののように思えた。

ぶらんこをはじめ公園の遊具は子どもにとっては大切な空間であり、想い出の場所ともなる。これから日常の中にぶらんこのある風景が残っていくことを望みたい。

また、今回の震災では、他人のために、思いやりを持ち、行動出来る人が沢山いることも知った。それぞれがやることをやる。ひとりひとりが協力する気持ちを持続させたい。

（黒澤）

公民館の利用受付

会場予約は先着順ではありません。
団体登録カードをお持ちください。

*各部屋 午前9時から
8月利用分 6月6日(月)

*ホール 午前10時から
12月利用分 6月6日(月)

目的外利用者・市外利用者は翌日から受付です。

★第3月曜日は全公民館休館です。
部屋の利用・予約・申請・印刷等の利用はできません。

6月20日は休館日です。

パソコン相談室

参加費・申し込み不要です。どなたでもどうぞ！
ハングル文字でインターネットができます。

毎週水曜日 昼コース 午前10時～12時
6月1・8・15・22・29日

毎週木曜日 夜コース 午後7時～9時
6月2・9・16・23・30日

場 所 いきいき活動室
指 導 公民館PCサポートクラブ

子育てサロン



0歳

から就園前の乳幼児とその保護者が対象です。

☆親子はーとふるTime(申込み不要)
*親子で一緒に遊びます。手遊び、紙芝居もします。サポーターママが待っています。

と き 6月3・10日(金) 午前10時30分～12時
場 所 いきいき活動室
6月10日は増進センター保健師参加。子育て相談もできます。

☆おかあさんのほっとTime
(保育付定員6人 申込み必要)
お子さんをあずけて、ゆっくりとお母さん同士で子育てのいるんなこととおしゃべりしましょう。はじめての方も安心してご参加ください。

と き 6月17日(金) 午前10時30分～12時
場 所 和室
申込み 6月1日(水)より平日9時～17時(電話可)



☆げんきっこTimeはお休みです。

☆おかあさんのステップアップ講座(保育付・申込み必要)
『離乳食の調理実習』
いつ、どんなメニューでどれくらいの量で？実際に作りながら大人の食事からのとりわけ方法など、離乳食のすすめ方を学びましょう。

と き 6月24日(金) 午前10時～12時
と ころ 調理室
講 師 ふじみ野保育園 栄養士 原 美樹氏
対 象 乳児の保護者
材 料 費 300円
持 ち 物 エプロン、三角巾、布巾
定 員 12人(先着順・保育定員も同じ)
申 込 6月3日(金)より平日9時～17時

ご協力ありがとうございました

先日、おかあさんのはーとふるTimeに参加しているママたちの呼びかけで、東日本大震災の被災地に送る支援物資(婦人靴)が多数集まり現地へ送りました。これからも子育てサロンでは必要な時に協力を呼びかけたいと思います。

げんもりかん映画会 「武士の家計簿」
と き 6月25日(土)午前10時、午後2時 午後6時
各回30分前開場
会 場 鶴瀬コミュニティセンターホール
参加費 1,000円(前売り800円)
主 催 げんもりかん・鶴瀬公民館
参加券は鶴瀬公民館で好評発売中です。



地震直後から家族と連絡が取れず、所沢からバスと徒歩で、停電で真っ暗な浦所を歩いた。3時間かけて、お話を聞かせてくれた。結婚式で使ったメモリアルろうそくが唯一の明かり、携帯インターネット、IP電話は停電ではただの箱と実感しました。

(藤江)

編集委員感想

ピースフェスティバル・プレ企画
堀 絢子氏ひとり芝居「朝ちゃん」

アニメ「忍者ハットリくん」や「新オバケのQ太郎」で知られる声優・堀絢子さんが広島で被爆した少女ら5役を演じる一人芝居です。

と き 6月18日(土) 午後2時～4時
会 場 鶴瀬コミュニティセンターホール
主 催 ピースフェスティバル実行委員会 富士見市教育委員会
問 合 せ 鶴瀬公民館 入場は無料です。



高齢者サロン



(電話可)

場 所 いきいき活動室
と き 午後1時30分～

お体に不安のある方、お友達のほしい方お気軽にお出かけください。

ひだまりほっとたいむ
第1・2・3木曜日
お茶代は月100円です。申込み不要
ホッと安心健康相談 第2木曜日
血圧測定や保健師の相談コーナーがあります。
問合せ 健康増進センター(049-252-3771)

いきいきたいむ
うた声サロン 毎週火曜日 お茶代月100円

富士見市高齢者 消費者問題講座

と き 6月16日(木)午前10時～午後12時
会 場 鶴瀬コミュニティセンターホール
テ ー マ 笑って撃退！悪質商法
講 師 夢見亭わっぱさん(落語家)
主 催 鶴瀬公民館
受 講 料 無 料、どなたでも参加できます。



わんぱく広場
小学生におやつづくりと手芸を教えます。

と き 6月25日(土)午前9時30分から受付
場 所 いきいき活動室 調理室
内 容 手 芸 100円(材料代)
おやつ 100円(材料代)
おやつづくりに参加する方はタオル一枚も忘れずにね！

主 催 わんぱく広場スタッフの会
問 合 せ 鶴瀬公民館

高齢者のための健康づくり講演会
「よく噛んで、脳いきいき！」

と き 6月22日(水)午後2時～
会 場 鶴瀬コミュニティセンター ホール
講 師 大渡 廣信 歯科医師
内 容 噛むチカラで脳ミソを活性化させ、認知症予防に役立てよう！

参加費 無料
主 催 健康増進センター
認知症予防自主グループ連絡会(みどりの会)
問 合 せ 健康増進センター

3.11の鶴瀬

「鶴瀬小学校」では！？

鶴瀬小学校教頭 天野 豪雄さん

地震発生時は6時間目が始まって少しした時で、揺れがおさまってから校庭に避難しました。数人が校内のガラスが割れたりしていないのを確認し、3年生以上は教室に戻り、授業が残り15分程だったので、授業はせず、帰りの仕度をさせました。1、2年生は帰るところだったので校庭で待機、登校班毎に一斉下校しました。近所のお母さん方が50人位見え、一緒に帰りました。中にはおびえている子どももいました。

地震直後、30～40分停電しましたが、すぐ復旧しました。保護者から10件位問合せの電話がありました。実際は30～40回かけて1回繋がったようです。

他の学校では体育館のガラスが割れたところもあったそうですが、本校の体育館は耐震補強工事も終わり、強化ガラスに変更した後で破損はありませんでした。

校長と教頭は教育委員会の指示を待ち、21時半頃まで残りました。

学校に避難してきた人はいませんでした。地震を経験して、避難路を検討し直しました。余震が起きると児童は反応が早くて、放送をかける前にすぐ机の下にもぐるようになりました。

「帰宅困難者」の皆さんの対応は！？パート2

都内に勤務する男性（鶴瀬東在住）会社に泊まる

当日は、歩くと言って退社した人を尻目に泊まることにして、かえって楽だった。でも何かの時のために一度は歩いておくべきかなと思っている。後日、出社に志木まで歩いたが、革靴を履いてはせいぜい二時間が限界と思った。都内は頭上の落下物にも気をつかわなければ歩けない。

地震後すぐにコンビニに食料の買い出しに行かせたが、夜に行くとも残ってなかった。すぐに買っておいて正解だった。社に残った人達と飲んだが、寝付けず2、3時間ウトウトしただけだった。翌朝、電車が動いてから帰った。家には10時頃には着いた。

～取材を終えて～

取材で、東京方面に通勤している人の状況や市内でのいろいろな対応が解った。市でも停電、停電しない地域に分かれるなど、これ以外にも様々な出来事があったと思う。今後も機会をみて防災に関して取り上げたい。

<この特集は君塚、黒澤、兵藤、藤江、横川、宮崎が担当しました。>



当日の帰宅の様子(都内)

3月11日(金)14時46分に三陸沖で起きた東北地方太平洋沖地震※は、マグニチュード9.0、宮城県栗原市で震度7、富士見市でも5弱という凄い揺れでした。

地震や大津波により、東北地方を中心に3万名近い死者行方不明者、家屋の倒壊、流失、原発の損傷による避難等未曾有の被害が出ています。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災地の一刻も早くの復興の支援を今後も続けていくことが必要です。富士見市も震源地から離れていたといえ、家財の損傷、停電、電車の運休等で生活に様々な影響が出ました。今回は、鶴瀬の当日の様子や経験取材しました。今後の私たちの災害への備えの参考にしていただきたいと思います。

東北地方太平洋沖地震及びこれに伴う原子力発電所事故による災害については、「東日本大震災」と呼称することとなっています。

「帰宅困難者」の皆さんの対応は！？

池袋でパート勤務の女性（ふじみ野東在住）バスと徒歩で帰宅

勤務先の建物が築40年位の古いビルだったため会社の人から、外に出て下さいと言われ、近くの池袋西口公園に行きました。公園は建物から出てきた人で溢れていました。会社に戻りしばらくして帰りました。電車が動いていないと解っていたので、どうしようかとあたりを回ってみても、多くの店が『休止にします』の張り紙で閉まっていた。

西口公園から各方面にバスが出ているのですが、川越方面はなく、少しでも前に進もうと、池袋から日大板橋病院まで行くバスに乗り、下車した頃は空は暗くなっていました。光が丘に帰る同僚と別れ、川越街道に向かって歩き、成増駅に着いても今日は電車が動かないということでした。

24時間営業のファストフード店で過ごそうかとも思いましたが、家の中の状態が心配で早く帰りたい、川越街道をまっすぐ行けば家に着くと解っていたので、歩くことにしました。川越街道沿いのコンビニは、災害時にトイレの貸出などの協力をするようになっていたらしく、時々借してもらいました。歩道は渋滞している車のライトで明るく、隣になった人と話をしたりすれ違う人に道を聞かれながら怖くはなかったです。

家族の安否確認は取れましたが、学校への問合せメールなどで携帯の電池が切れてしまいました。川越街道から自分だけふじみ野駅方向へ曲がると、辺り一帯が真っ暗で驚きました。車も人も通らず足元も見えないので、手を伸ばして手探り状態のまま歩き、イオンの辺りもシーンとしていて、みんな避難しているのかと思ったくらいでした。

ふじみ野駅だけは明かりが点いて人もいましたが、通り過ぎてまた真っ暗になり、0時過ぎにようやく自宅のマンションに到着しましたが、停電していました。

歩いた靴は低いパンプスでしたが、スニーカーとリュックなどであれば、池袋から30kmない位なので、歩けない距離ではないと思いました。車を運転するので池袋から川越街道をまっすぐ行けば帰れると解っていましたが、同僚はどの方向かもわからないということで、地震後、旦那さんに地図とペンライトを持たされたそうです。車が渋滞していたので、緊急車両が通る時はどうするんだろうと思いました。

「ふじみ野交流センター」では！？

ふじみ野交流センター職員 岡本 定さん

当日は、19時からの会議で職員3人が残っており、会議中に災害対策本部から帰宅困難者の受入依頼がありました。20時半頃に一度、駅長さんと交番の駐在さんに伴われて来ました。その後断続的に訪ねてきて、最終的に150人位が泊まりました。交流コーナーや各部屋の椅子に座れる所に案内しました。災害対策本部からの応援職員が毛布200枚位とカンパンを持参。交流センターは地震で停電したものの1時間程で復旧し、暖房が効きましたが、それでも深夜から朝にかけては寒かったです。

朝6時半頃、駅から電車が動いたとの連絡があり、皆さん帰っていきました。市民の方で泊まったのは、地震発生時プレイルームで遊んでいた親子2組で、交流センターの電気が復旧したので自宅に帰ったところ、まだ停電中だった為、不安ということで訪れてきました。

職員3人は翌朝8時半までいて、引継ぎをし帰宅しました。後日泊まった方から礼状や感謝の電話をいただきました。

『災害時帰宅支援ステーション』が設置されています。

今回のような大災害が発生した場合、通勤・通学、買い物、行楽などの外出中の人は、公共交通機関が不通となってしまう可能性が高く、帰れなくなってしまいます。

このような「帰宅困難者」の徒歩帰宅を支援するため九都県市では沿道の事業者の方々に協力を得て「災害時帰宅支援ステーション」を設置しています。

災害時帰宅支援ステーションでは、水道水の提供 トイレの使用 地図等による道路情報、ラジオ等で知り得た通行可能な道路に関する情報の提供など、可能な範囲で帰宅困難者の皆さんを支援しています。

埼玉・千葉・東京・神奈川・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市

防災首都圏ネットより掲載



コンビニエンスストア ファミリーレストランなど

「東武東上線富士見市3駅」では！？

ふじみ野駅長 水野 亮次さん

地震発生時は、新入生の定期券購入の注意事項などを説明に行った帰りで大井高校のバス停にいました。感じた揺れで、これは電車が止まっているなどと思い、すぐに駅に戻りました。地震発生時の停車の指示は指令が行い、運転士も揺れを感じた場合は速やかに列車を安全な場所に停車させます。

地震発生後は係員が徒歩にて設備の点検を行いました。点検に時間を要したため、終日運休としました。ふじみ野駅には帰れない方が30～40人おり、富士見市を通じて公民館等を手配してもらい、その後駅を閉めました。

翌12日土曜日は早朝に電車の遅れが発生しましたが、その後は平常通り運行しました。14日からは停電時間に合わせ、大幅な列車の運行が制限されました。計画停電が実施されると、変電所に電気が供給されなくなるため、電車を動かすことができない他、踏切が動作しなくなったり、信号が消えてしまったり、駅では券売機や自動改札機が作動しなくなってしまう。従って、電気が確保されることが確実な区間や時間帯でしかダイヤを組めず、ご迷惑をおかけしました。



震度5弱で発生した液状化被害の状況(千葉)

その他の『公共施設』への避難者は？
(3月11日集計分)
鶴瀬公民館では、4団体約80名の利用者が活動してました。そのときは、比較的長い揺れの中で徐々に激しい揺れへと変わったので、利用者に声をかけながら、公民館の中庭に避難しました。最後は職員が各部屋を点検して、声をかけあいました。今、振り返ると年1回の避難訓練が少しは役に立っていると実感しています。
その日は、夜10時30分まで開館していましたが、停電もあり余震の心配から一人暮らしの高齢者の方がお一人訪ねて来ました。
鶴瀬西交流センター：約60人
みずほ台コミュニティセンター：約60人
水谷東公民館：4人
羽沢1丁目集会所：6人
市役所：4人